

# 建設現場の作業挑戦



講師の指導を受けるながらクレーン付きトラックの機械操作を体験する生徒(左)

## 岳陽中で体験型学習会

福島河川国道事務所と県建設業協会は11日、福島市の岳陽中で建設現場の仕事を紹介する「体験型現場学習会」を開き、生徒らが建設

業の仕事に理解を深めた。若い世代に建設業の仕事に興味を持つてもらおうと

昨年から県内の中学校で開いている。今回、同校の総合的な学習の時間の「職場見学」の一環で行われ、1年生約20人が参加した。

学習会では、同協会の会員らが講師を務め、生徒がコンクリート製作や20㍍の測量などを体験。また、ク

レーン付きトラックの機械操作にも挑戦し、子どもたちはレバーを握り、コンクリートブロックをダイヤの穴めがけ移動させた。丹治優斗君(13)は「UFOキャラクターのように空中と地面との位置関係を把握するのが難しかった。上手に操る講師の方々がすごいと思った」と関心を寄せていた。

地整福島建設業協会

## 建設業の魅力伝える

### 岳陽中で現場体験学習会

東北地方整備局福島河川国道事務所と県建設業協会（小野利廣会長）は11日、福島市立岳陽中学校で体験型現場学習会を開き、コンクリートの製作業を見守る授業として行われたもので、建設業を希望した生徒が参



クレーン操作を体験する生徒

作や建設機械の操作などを通して、参加した女子生徒を含む1年生16人に建設業の魅力を伝えた。建設業への理解を深めてもうのが狙い。

建設青年会が取り組む人材確保活動の一環。好奇心旺盛な中学生にさまざまな工種を直接体験しことを進路に生かしていきた」とあいさつした。

福島河川国道事務所の一瓶昭弘副所長が「将来を考える材料にしてほしい」と、県建設業協会青年部の野地武之会長が「楽しげなことがたくさんあるが、重機を扱うなど危険もある。安全に楽しく体験してほしい」と呼びかけた。青年部の事業創造委員会のメンバーらが指導した。

交通省製作ビデオ「建設業へGO」を視聴した。生徒たちは学習の成果を新規なことを学んだ。

今年度3回目となる学

生徒たちは3班に分か

れ、①コンクリートの製

作②測量③建設機械の操

作一をローテーションで

体験学習した。コンクリートは材料から作り、30

四方の型枠に流し込んでコテで仕上げた。測量は光波測量機の精度を学んだ後、歩測の数値を競い、上位の生徒には記念品を贈呈。小型移動式ク

レーン付きトラックを操

作し、吊り下げたコンク

リートブロックを指定の

場所に移動させる作業も

体験した。